

施設に笑顔と温もりを、地域に希望と安心を

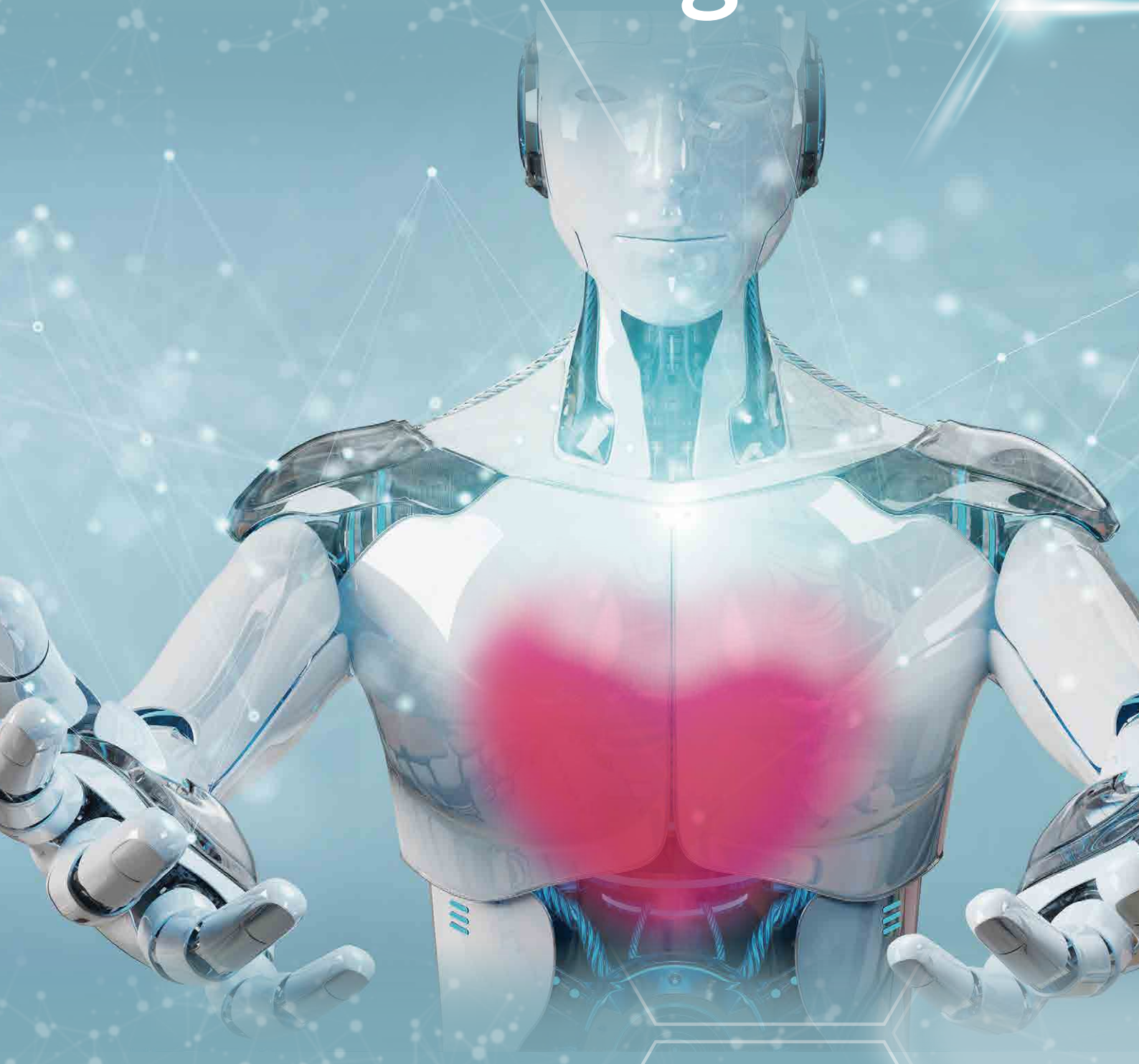


健祥会だより 2024

KENSHOKAI DAYORI vol.49

介護の未来はロボットとともに

「こころ」×「digital」



最先端のテクノロジーと「心」を両輪に 施設に笑顔と温もりを、地域に希望と安心を

新しい知見を携えて ポストコロナの世界へ

昨年5月以降、世の中の流れは大きく変わり、私たちはポストコロナの世界を歩んでいます。当グループでは、コロナとの闘いという経験によって以前にはなかった新しい知見を得たことで、今後再び起こるかもしれない予期せぬ事態への対応力を鍛え、withコロナを実践してきました。ポストコロナの今、この経験をしっかりと生かし、心構えと準備を怠らず、日々の業務に臨んでいます。コロナの間、外部の目が届かなくなったことでサービスが疎かになってはいけなと繰り返し職員に注意喚起し、現場の大切さを

訴え続けてきました。外部への発信の手段として、各施設のブログが非常に充実してきたことは嬉しい成果でした。

利用者様の言葉に

「心と心」の原点を見る

私自身、昨年はさまざまな行事で足繁く施設を訪れ、利用者様と触れ合うことができました。現場に立って改めて、利用者様の笑顔の嬉しさ、心と心、手と手の温もりの大切さを再認識することができました。特にケアハウス健祥会リバティ（徳島市）の20周年記念式典では、お二人の言葉に本当に感動しました。開所時より20年にわたって入居くださっている方が、「リ

バティは100点満点。私にとって天国のようなところです」と、施設で元気に100歳を迎えられた方は「長生きできたのは皆にやさしくしていただいているおかげです」と、それぞれ凛としてご挨拶くださいました。お二人の姿に、福祉

の原点、「心と心」の原点を見た瞬間でした。素晴らしいサービスをつくりあげてくれたリバティの職員たちに感謝を伝えたいものでした。（※P.5参照）

本年1月1日、東みよし町で18年の歴史をもつグループホームいこいの家が、グループホーム健祥会いこいの名で私たちの仲間入りをしました。たいへんあたたかで家庭的、笑顔あふれる

素晴らしいホームですから、その伝統は大切に受け継ぎつつ、健祥会の良さもプラスして、家庭的であって最先端という新しいスタイルのグループホームに育てていきたいと思っています。

人にしかできない 「心のサービス」を 守り続けて

この数年、物価高騰や人材難などさまざまな困難の中、

果敢に施設のICT化を図ってきました。利用者様によりよいサービスをお届けするために、職員の働きやすさのために、ICTは不可欠です。他方、コロナという試練の中で、ロボットでは担えない私たちの原点の大切さを痛感し、心と手の温もりの素晴らしさこそ大切にしなければと



健祥会グループ 理事長 中村 太一

の想いをいっそう強くしてきたことも事実。人とロボットの協働する新しい時代にあつて、最先端を追い求めつつ、グループの原点である「心」、人にしかできない「心のサービス」を守り続けていかねばならないと胸に期しています。

昨年、福祉の現場で起きた考えられないような事故や虐待、様々なハラスメントの報道には心が凍る思いでした。当グループではあり得ないことですが、あり得ないとして片付けるのではなく、他山の石として、虐待はもちろん、どんなハラスメントも許さないという根絶の取り組みを推進しております。相手の立場を思いやり、相手の立場に立って、風通しのよい職場であるように、職員がいつも笑顔で、高品質なケアを利用者様に提供できる施設づくりに取り組んでまいります。

そして今年、介護報酬と診療報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の

年です。介護報酬はICTの積極的な導入や、認知症対応に加算が新設され、全体で1.59%増。収支状況調査をもとに、特養・老健などではアップ、訪問介護ではダウンとなったものの、介護職員等の給与アップについては財源が確保されました。障害福祉サービスは1.12%増、診療報酬も本体0.88%増となりました。物価高・人材難の中での処遇改善の実施などを鑑みれば厳しい数字と言わざるを得ませんが、しかし何がどうあろうと、利用者様と地域社会の安心のためという芯がぶれることがあつてはなりません。コロナで改めて気付かされた現場の大事さをグループで共有し、最先端のテクノロジーと「心」を両輪に、笑顔と温もり、希望と安心を紡いでまいります。

人は財、大切な職員たちと共に

最後に皆様にお願ひがあります。育英認定こども園が2025年4月の新築移転オープンに先行して新しいスタッフを募集しています。また、健祥会学園が、少子化と大学志向などの影響を受けて入学生集めに苦慮しています。素晴らしい教育保育のために、また介護・医療の人財づくりのために、こども園スタッフと学園の入学生、あわせてお心にとめていただき、お知り合いなどにお声掛けしていただければ幸いです。

2024年、変わらぬご支援をよろしく願ひいたします。

原点に立ち、不変の行動指針を掲げて

- 一、私は利用者ニーズに応えます
- 一、私は上司・部下・同僚に応えます
- 一、私は地域社会に応えます
- 一、私は園児・保護者の想いに応えます
- 一、私は上司・部下・同僚に応えます
- 一、私は地域社会に応えます
- 一、私は学生の未来に応えます
- 一、私は上司・部下・同僚に応えます
- 一、私は地域社会に応えます

明日を想う
健祥会グループ

表彰

会技ゲートボールで嬉しい表彰相次ぐ
理事長にスポーツ功労者表彰
3チームに特別優秀者・優秀者表彰
「徳島県スポーツ賞」奨励賞

2023
2/11(土)
2/24(金)

健祥会グループは、1979年の設立当時から高齢社会にふさわしいスポーツとしてゲートボールを会技とし、地域に普及を図ってきました。グループ内のチームもグループ主催のゲートボール大会も歴史を重ねています。

2022年には「第21回全国社会人ゲートボール大会」で、健祥会キング、健祥会エンペラー、健祥会リパティの3チームが、日本ゲートボール連合主催の全国大会で史上初の表彰台独占という輝かしい成績を収めています。

こうした活躍に対して、公益財団法人徳島県スポーツ協会から

また、健祥会キングの主将である理事長中村太一は、「国内のみならず世界各国において数多くの選手の指導に尽力し、ゲートボール競技の普及発展に多大な貢献をしている」として、「スポーツ功労者表彰」を受けました。

さらに、全国大会などで優秀な成績を挙げた選手や指導者の功績を称える賞である「徳島県ス



スポーツ功労者表彰



「徳島県スポーツ賞」奨励賞

ports賞」奨励賞を健祥会グループゲートボールチームが受賞しました。

大変晴れがましい賞を相次いでいただき、本当に嬉しく、厚く御礼申し上げます。

ゲートボールと二人三脚で歩んできた健祥会グループ。この賞に恥じぬよう今後も精進し、ゲートボールの素晴らしさ、楽しさを地域に発信しながら、さらなる普及に努めてまいります。

就任

健祥会グループ 常務理事 中村晃子
徳島県経営者協会の副会長に就任

2023
6/7(水)

徳島県の経済5団体のひとつである徳島県経営者協会において、健祥会グループ常務理事中村晃子が副会長の任を頂戴しました。就任にあたり、「人口減少著しい徳島が少しでも活力を取り戻し、希望のもてる地になるためには、女性活躍の加

速がひとつの鍵であるとの認識のもと、元氣な阿波女としての目線と福祉の立場を大切に、徳島のために精一杯尽力してまいりたい」と抱負を述べました。徳島経済活性化の重責を担うこととなり、グループとしても大変名譽なことです。



スポーツ特別優秀者表彰・優秀者表彰



副会長として
第3回 阿波女活躍サミットにて宣言

CONTENTS

健祥会だより 2024 vol.49

- 2 最先端のテクノロジーと「心」を両輪に
施設に笑顔と温もりを、地域に希望と安心を
健祥会グループ 理事長 中村 太一
- 4 2023 KENSHOKAI TOPICS
- 6 人こそ財! 人が輝く健祥会へ
～2023 採用レポート～
- 8 職環境への表彰あれこれ
働く喜びに充ちた職場でありますように
- 10 施設力を高め、皆の力を結集
選ばないことで選ばれる施設へ
- 11 ご篤志に感謝して
- 12 つながり合い支え合い、施設はいつも地域とともに
2023 地域活動報告
- 14 KIRARI WOMANネットワーク - 2023 活動レポート -



OPEN

元気な町に安心を 北島町初の小規模多機能ホーム 健祥会ハーグ オープン

2023
4/1(土)



利用者様随時募集中!(要介護認定を受けていない方も一度ご相談ください)
■小規模多機能ホーム 健祥会ハーグ TEL.088-678-7988

この10年間で徳島県内で唯一
年少人口が増加し、今後も
人口増が見込めるとされる
北島町。徳島でいちばん元氣
なこの町で、2014年開設
の特別養護老人ホーム健祥会
ライデンとサービステイ付高齢者
住宅健祥会デルフトに隣接し
て小規模多機能ホーム健祥会
ハーグが開所しました。施設
名称は、北島町の花・チャー
リップにちなんでオランダの
都市の名を冠した「ライデン」
「デルフト」と同様に、オラン
ダ第三の都市「ハーグ」から
の命名です。

新施設には、業務の効率化と情
報共有を図るICTシステム
を導入、個室には見守りセン
サーが設備されており、利用
者様にも介護者にも大きな安心
を届けます。

北島町にお住まいで、要支援
1・2、要介護1〜5の介護認
定を受けられた方が対象です。

健祥会ハーグでは「通い・訪問・
泊まり」3つのサービステイで皆様
の安心を365日24時間担うと
共に、健祥会ライデンと健祥会
デルフトと連携し、北島町の皆
様の安心の拠点となつてまいり
ます。

東みよし町に グループホーム 健祥会いこい

2024
1/1(月)



東みよし町で18年の歴史をも
つグループホームいこいの家
が、グループホーム健祥会い
こいの名で私たちの仲間入り
をしました。たいへんあた
たか家庭的、笑顔あふれる
ホームです。職員はそのまま
勤務してくれることになり
ましたので、素晴らしい伝統
は大切に受け継ぎつつ、健祥
会の良さもプラスして、家庭
的であつて最先端という新し
いスタイルのグループホーム
に育てていきたいと思ってい
ます。

これで、東みよし町には特養・
老健・ケアハウス・グループ
ホームが揃い、地域にとつて
これ以上ない安心の体制と
なります。

周年記念

5つの施設で節目の記念日
周年ありがとう! おめでとう!

20th
■健祥会インディペンデント21
(吉野川市川島町)

10th
■特別養護老人ホーム 健祥会エンリケ
(大阪市住之江区南港)
メモリアル映像を皆様とともに

5th
■グループホーム 元気
(徳島市国府町)
賑やかに「おげんきマルシェ」開催

■グループホーム 礼あり優あり
(吉野川市鴨島町)
久々の健祥会鴨島合同敬老会とともに周年
をお祝い

■ケアハウス 健祥会リパティ
(徳島市応神町)
利用者様に感謝状とお祝い状



人こそ財!

たから

人が輝く健祥会へ

新しい仲間を迎えて

2023 4/3(月) ~ 令和5年度入職式 ~

令和5年度、健祥会グループに28名の新入職員を迎え、本部の健祥会トウモロホールで入職式が行われました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行しようとしていた時期でしたが、人に向き合う職として気を緩めることなく、対策を徹底したうえで挙行。本部署職員が見守る中、28名の名前が呼び上げられ、健祥会グループ理事長中村太一より以下の訓辞がありました。

**ポストコロナの新時代へ
やさしくて安心の
未来をめざして**

健祥会グループ
理事長 中村太一 訓辞

グループの中の社会福祉法人健祥会と緑風会は、全国に2万3000ほどしかない特定社会福祉法人です。誇らしいことでもありますがこのステータスに甘んじることなく、40年前、四国で初めてデイサービス事業をスタートさせて以来、常に時代に先駆けてきたように、進化と挑戦を続けたいと思っています。進化し続けるためには、新しい感覚と発想が必要です。情報収集能力に優れたデジタルネイティブ世代であり、自分の価値観をしっかりと確立されている皆さん方が新しい風となり、固定観念

を打ち砕いてくださることを期待します。「心」と最先端のテクノロジーの融合で、利用者様にも介護者にもやさしくて安心の未来をめざし、ともに成長しながらより素晴らしい健祥会グループを築いていきましょう。



新入職員決意表明

コロナを契機に様々なものが激しく変化していますが、どんなに時代が変わろうと、私たちの仕事は人にしかできない尊い仕事であり、そのことを本心に誇りに思います。それぞれの専門性を活かし、高め、豊かな想像力と広い視野を養い、利用者様のニーズに寄り添える職員になりたいと思います。

新しい介護への挑戦と組織変革への取り組みをさらに進化させていく令和5年度、希望に満ち溢れた28名とともにスタートです。



大塚国際美術館でこころ豊かなひとときを

2023 5/24(水) ~ 新入職員懇親研修 ~

健祥会グループの各施設は地域の福祉の拠点として、設備の充実はもちろんのこと、文化の薫る心豊かな空間であるよう、内装や調度にも心配りしてつくられています。その一端が、施設の名前にも因んで飾られた数々の絵画。誰もが一度は目にしたことのあるような名画もたくさんあり、利用者様や職員の間を楽しませてあげています。そんな想いを新入職員にも知ってほしい、研修の一環として大塚国際美術館へ出かけました。ここでは、世界の名画が陶板画として見事に再現され、古代から現代に至るまであらゆる年代の作品が系統だっって展示されています。

研修には27名が参加。初めて訪れたという職員もあり、オリジナルながらの迫力にあちらでもこちらでも感嘆の声が上がります。ケアハウスの施設名にもなっているゴッホの「ひまわり」をはじめ、健祥会グループ施設にゆかりの絵画もたっぷり鑑賞しました。

最後に、モネの池を眺めるカフェでティータイム。今観てきた名画について話を弾ませたり、仕事の様子を語り合ったり、仲間との交流を深めました。



この日をしっかり胸に刻んで

令和6年度 職員採用内定式 2023 11/11(土)



今年度も「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」の介護の日に、次年度の採用者の内定式が行われました。

健祥会グループ 常務理事 中村晃子 挨拶

介護分野では、日本人の3人に1人は65歳以上という超高齢社会となり、20年前と比べ、高齢者の数は約1.6倍、介護サービスを利用する人は約3.3倍にも増加しています。また教育保育分野においては、女性就業率の高まりによりサービスの需要はどんどん拡大しています。介護と教育保育、どちらも社会にとってなくてはならない職業です。皆さんは、この仕事を選んだことを誇りに思ってください。

当グループは、今、原点である「人」と「technology」をキーワードに、全施設でICT化を図り、ロボットとの協働をすす



めています。大切なものは、デジタルを上手に使いこなして、エビデンスに基づいた科学的な視点で福祉の世界をつくっていくこと。それが担える人材に育ててほしいと思います。現在の福祉は、決して完成形ではありません。「ここ」と「technology」の融合で、利用者様にとっても私たちににとって、やさしくて安心の未来をつかってまいります。

来春迎える予定の28名、彼らの若い力に期待し、地域社会の安心のためにともにポストコロナの未来を拓いてまいります。

Global human resources

EPA介護福祉士候補者

健祥会グループに今年もアジアからの人財仲間入り

- 2023 EPA介護福祉士候補者
- フィリピン人……7名(1/11)
- インドネシア人……26名(12/20)
- フィリピン人……11名(12/27)

入国後研修を終えたアジアの人財合計44名が健祥会グループ入りし、各施設に配属されました。施設では、施設長より辞令が交付され、記念のタブレット端末と印鑑が贈られました。契約内容、介護技術、日本の生活習慣、日本語学習プログラム、国家試験対策などについて、本部からの配信により就労前研修を受けたのち、就労開始。3年後の介護福祉士国家試験合格をめざし、仕事に勉強に頑張ります。皆様に喜んでいただける人財になりますよう、グループをあげてサポートしてまいります。利用者様、ご家族、そして地域の皆様、どうぞよろしく願っています。



職環境への表彰あれこれ 働く喜びに充ちた

職場でありますように

福祉は「人」あつてのものです。働く人の幸せが質の高いサービスをつくりまします。職員のため、ひいては利用者様のために、さらによりよい職環境づくりに努めてまいります。

男女共同参画立県とくしまづくり賞 社会福祉法人緑風会も受賞

創設時からの女性活躍の組織風土のもと、健祥会グループでは誰もが活躍できる働きやすい職環境づくりを推進しています。

これに続いて2023年、社会福祉法人緑風会も同賞を受賞しました。

8月27日、「誰もが輝くフェスティバル2023」(徳島県立男女共同参画総合支援センター・ときわプラザ)で表彰式が行われ、常務理事中村晃子が出席。徳島県志田副知事より表彰状と記念のオブジェをいただきました。



| 2023 8/27(日) |

健康第一でいこう!

従業員の幸せのための 安全アクションSAFEで 腰痛予防部門ブロック賞を受賞

労働災害を社会問題としてとらえ、増加傾向にある労働災害(特に、日常生活でも発生しうる転倒や腰痛などの災害)の問題解決に取り組みSAFE(Safer Action For Employees)。健祥会グループは、その趣旨に賛同した企業、団体が構成するSAFEコンソーシアムのメンバーです。このSAFEにおいて、加盟者の取り組みの共有と顕彰を目的としたアワードが設けられており、85件の応募の中から健祥会グループが

2022年度腰痛予防部門ブロック賞を受賞しました。腰痛対策は介護現場とは切っても切れない重要なものです。ボディメカニクスや介護ロボットなどを活用し、今後さらにより活用し、今後もまいります。



| 2023 3/7(火) |

グループ4法人が 「健康経営優良法人2023」認定

経済産業省の「健康経営優良法人認定制度」による「健康経営優良法人2023」が発表になり、健祥会グループ4法人(社会福祉法人健祥会・社会福祉法人緑風会・社会福祉法人育英福祉会・社会福祉法人青風会)が、28の評価項目すべてをクリアし、揃って4度目の認定を受けました。

独自の健康保険組合を持つ大企業の並ぶ大規模法人部門、3,169法人の中に名を連ねての荣誉です。



| 2023 3/8(水) |

インクルーシブがいいね!

今年も職員が受賞 「チャレンジどくしま賞」

長年にわたって職業人として活躍する障がいのある人に贈られる「チャレンジどくしま賞」を特別養護老人ホーム緑風荘のケアサポーター川柴正晃さん（2010年4月入職）が受賞しました。おめでとうございます。

担当。責任感があり、仕事の内容も丁寧で、まさに「環境整美はおまかせ!」。得意のピアノで行事に華を添えたり、施設にとつてなくてはならない存在です。受賞を励みに、これからも頑張ってください。

川柴正晃さんはケアサポーターとして清掃や洗濯を



| 2023 3/16(木) |

みんなが輝く社会をめざして! 障がい者雇用で表彰いただく

障がいの有無にかかわらず、個人の能力や適性に応じて、さまざまな人がともに働き、地域で自立した生活を送ることができるとともに、インクルーシブ社会の実現をめざし、企業には障がいのある人の一定割合の雇用が義務付けられています。2023年度の民間企業の法定雇用率は2.3%です。社会福祉法人健祥会も緑風会も、2016年からこの義務割合をずっと上回るとともに、職場環境の

整備、サポート体制の充実、キャリアパスの明示などにも取り組んでいます。こうした努力が評価され、2019年には緑風会が独立行政法人



高年齢・障害・求職者雇用支援機構の「理事長努力賞」を受賞。2023年には健祥会が同機構の「理事長賞」を受賞しました。



| 2023 9/26(火) |

ユニフォーム二新で 気持ちも新たに!

2023年4月1日より四国地域のケアワーカー（介護職）と管理栄養士のユニフォームが一新されました。軽く柔らかく、着心地よく、動きやすく、優れた吸汗速乾性能を持つ素材です。ジエンダーフリーで2色のうち好きな方を選びます。洗濯機でじゃぶじゃぶ洗えるのも魅力。後身頃が長く、しゃがんでも腰やおしりが隠れる嬉しいデザインです。管理栄養士のものは、機能性は同じで別デザインとし、利用者様に職種の違いがわかるよう配慮しました。明るく軽やかなユニフォームで、利用者様にも楽しい気分になっていただけますように!



胸元には「Kenshokai」と刺繍が。

| 2023 4/1(土) |

施設力を高め、皆の力を結集 選ばないことで選ばれる施設へ

2023 3/14(火) **LIVE** 健祥会トゥモローホールから全施設にライブ配信



令和4年度年間取組発表会 決勝大会
「専門性」と「連携」で、私たちが地域の福祉をリードする

ふるさと那賀に栄冠
堂々の二連覇！

介護老人福祉施設
ふるさと那賀
つなげ！心のリレー
CHALLENGE TO
THE FUTURE

施設サービス力と利用者様満足の向上のための取り組みの成果を報告し、評価しあう「年間取組発表会」。統一テーマに沿って施設種別ごとの予選を勝ち抜いた7施設が決勝大会に臨みました。

健祥会グループ理事長中村太一、常務理事中村晃子、専門学校健祥会学園校長武田英二をはじめとする審査員と職員の前で、7施設が令和4年度1年間の取り組みと成果をプレゼンテーション。大会の様子はグループ全施設にライブ配信され、利用者様も画面の前で応援してくださいました。

どの施設も内容、プレゼンテーションともに素晴らしく、難しい審査でしたが、優勝の栄冠に輝いたのは介護老人福祉施設ふるさと那賀。昨年に続く連覇です。

発表内容をまとめたポスターも同時に審査され、特別養護老人ホーム健祥会エンリケが優勝しました。

選ばれる施設であるために、利用者様のご要望にお応えできる強い施設になるという決意のもと、「断らない」「HUGの活用」

「ADL」「専門性・連携」という4つの重点目標を定め、実践を積み重ねた。一つひとつの取り組みを通じて人と人、人とロボット、施設と地域をつなぐことの大切さを施設みんなで共有できた。



審査委員長
健祥会グループ理事長 中村太一総評

「4年ぶりに発表者と応援団、すべてが健祥会トゥモローホールに集まって開催でき、本当によかったと思います。エネルギーを感じる大変素晴らしい発表会でした。多様化する福祉ニーズに応えるために、さらに専門性を磨き、柔軟な発想と創意工夫、そして原点を大切に、サービスの質の向上を図っていきましょう。」



令和5年度のテーマは「コロナに負けない生活潤いと楽しみの提供と求められる生産性の向上」です。全施設、全職員が1年頑張つて、さらに素晴らしい成果を報告してくれることを期待したいと思います。」



ポスターの部
最優秀賞
特別養護老人ホーム
健祥会エンリケ

発表の部

最優秀賞

- 介護老人福祉施設 ふるさと那賀

第2位

- 介護老人保健施設 センターヴィレッジ

第3位

- 特別養護老人ホーム エリザベート成城

ポスターの部

最優秀賞

- 特別養護老人ホーム 健祥会エンリケ

第2位

- 老人保健施設 健祥会シェンブルン

第3位

- 特別養護老人ホーム 健祥会ピーター / ケアハウス 鳩の家 / 養護老人ホーム 健祥会エジンバラ

ありがとうございます。 今年も数々の助成や ご寄付をいただきました。

様々な補助事業において採択いただき、車の購入や施設の修繕などが実現しました。よりよいサービスづくりにしっかり活かしてまいります。

①日本財団【福祉車両整備事業】

助成施設:小規模多機能ホーム 健祥会セビリア
デイセンター 緑風会尊氏

助成内容:普通自動車(送迎車)各1台

助成額:1台につき1,960,000円

②徳島県共同募金会

【新型コロナウイルス感染症下の地域福祉活動応援助成事業】

助成施設:養護老人ホーム 健祥会頼朝

助成内容:トイレの改修(和式から洋式に改修)

助成額:300,000円

③日本財団

【日本財団補助施設の修繕・改造等に関する助成事業】

助成施設:特別養護老人ホーム 健祥会ピーター
ケアハウス 鳩の家

助成内容:大規模修繕工事

助成額:19,590,000円

④公益財団法人JKA

【2023年度補助事業(競輪公益資金)】

助成施設:小規模多機能ホーム 健祥会テルダム

助成内容:軽自動車(スロープ式)

助成額:1,125,000円

助成施設:健祥会デイサービスセンターうだつ

助成内容:介護特殊浴槽

助成額:4,492,000円

助成施設:デイセンター 緑風

助成内容:介護特殊浴槽

助成額:5,272,000円

⑤公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団

【令和5年度助成事業】

助成施設:健祥会ステーション(職員寮)

助成内容:改修工事

助成額:1,000,000円

⑥公益財団法人三菱UFJ環境財団

【植栽樹木苗木寄贈事業】

対象施設:特別養護老人ホーム 健祥会バイエルン

寄贈内容:サツキ(88本)

⑦徳島県共同募金会【共同募金の分配】

助成施設:青嵐認定こども園

助成内容:ハウス遊具の購入

助成額:750,000円

ありがとうございます! 

2023 7/3(月)

ドイツからの看護訪問団 ロボット活用視察に来設

徳島県と「ドイツ・マネジメン
トアカデミー・ニーダーザクセ
ン」との交流事業で来県してい
たニーダーザクセン州の看護訪
問団10名が、介護現場でのロボッ
ト活用の現状視察のために健祥
会グループを訪れました。一行
は健祥会プレゼンテーションで、
移乗支援ロボット、見守りセン
サー付きのベッド、アシストス
ーツなどの介護機器を見学・体験
するとともに、隣接する特別養
護老人ホーム笑顔とグループ
ホーム元気で介護機器の使用状
況を視察。意見交換では、日本

の介護保険制度や介護の専門職
養成と人材確保、介護施設での
医療の提供などについて様々な
質問を寄せるとともに、「開放的
で家庭的だ」と、ユニットケア
にも好印象を持たれたよう
でした。

別れの挨拶では「グループの掲
げる、心を込めるというモットー
が施設運営の中に生かされてい
て、すばらしいと感じました」と
嬉しい言葉をくださいました。



2023 8/30(水)

利用者様のQOL向上のために! 栄養ケア・マネジメント勉強会開催

介護保険における施設サービス
には、栄養ケア・マネジメントが
基本サービスとして組み込まれ
ており、健祥会グループでは、よ
り質の高い栄養ケア・マネジメン
トを実践するために、食に携わる
職員(管理栄養士・栄養士・調理
員)が食・栄養向上委員会を組織
し、学び合い高め合っています。
その一環として、健祥会トウモ
ロホールを会場に勉強会を開
催。会場参加25名、リモート17名、
合計42名が参加し、利用者様の状
態に応じた栄養管理のために重
要となるアセスメントの基本を

確認するとともに、意見交換と
学びの機会としました。
前半は、むくの木クリニック管
理栄養士岩瀬真菜美が徳島大学
病院NSTカンファレンスの見
学報告と栄養アセスメントにつ
いての講義。後半は医師であり、
栄養学が専門の健祥会学園校長
武田英二がアドバイザーを務め、
ロールプレイングとグループ
ワークをもとに、活発な議論が
交わされました。得られた学び
や気づきをしっかりと実践に生か
してまいります。



つながり合い支え合い、施設はいつも地域とともに

あたたかな地域づくりをめざして、各施設が様々な地域活動を行っています。
「地域社会への貢献」は健祥会グループの三つの行動指針の一つです。



2023 3/19(日)

ボランティアや沿道の観衆の応援が魅力の「おもてなし」の大会として全国的にも人気の高いとくしまマラソンで、健祥会グループは2016年の第9回大会以来、給水所でのボランティアを担っています。コロナ禍を経て、4年ぶりに開催された2023年大会でも給水所を担当。今年初めて競技用車いすによる「車いすロードレース」が設けられたことから、福祉職としてレースのサポートにも協力しました。

4年ぶり開催のとくしまマラソン2023 「車いすロードレース」と「給水所」をサポート

後日、この活動に対し、とくしまマラソン実行委員会より感謝状が贈られました。地域への感謝の気持ちと徳島を盛り上げたいとの思いではじめたサポート。ボランティアというより、ランナーとの交流など、職員にとってもすばらしい体験となっています。その上感謝状をいただき、本当にありがとうございます。



車いすロードレース



とくしまマラソン2023



徳島グランヴィリオホテルでの贈呈式に臨む地域活動部部长樹田和平(2023 8/31)



2023 3/2(木)

「優秀キャラバン・メイト」表彰 「認知症サポーター養成協力事業所」登録

認知症への理解促進を図るために、徳島県は2014年から毎年、講師として多くの認知症サポーターを養成した「優秀キャラバン・メイト」の表彰と一定人数のサポーターを擁する養成協力事業所の登録を行っており、2021年10月から2022年9月までの実績に対して、表彰と登録証交付が行われました。

健祥会グループでは、専門学校健祥会学園教員1名が「プロンズキャラバン・メイト」に、2022年12月1日開所のグループホーム健祥会こころと、健祥会ケアプランセンタータクト、健祥会ケアプランセンター阿南が新たに「ゴールド事業所」(講師を務めることのできるキャラバン・メイトが在籍している事業所)に登録されました。

グループ全事業所における職員の受講率は89%、徳島県内ではほぼ100%を達成しており、「認知症サポーター養成協力事業所」には県内事業所のすべてが認定登録されています。また、2014年から2023年12月末までにグループが養成した認知症サポーターは、18,752名のほりです。

誰もが正しく理解し、理解を深めることで、認知症になっても安心して暮らせる地域でありますように、引き続き啓蒙と理解促進に努めてまいります。



徳島グランヴィリオホテルで表彰式・交付式



それぞれの「感謝の日」 介護ロボットも炊き出し訓練も！

グループ内の施設はすべて、様々な人々のご尽力があつて誕生し、たくさんの人の善意に支えられて今があります。そのことを忘れないために、創始者中村博彦の命日を「感謝の日」と定め、感謝の気持ちをかたちにしています。暑い中ですから利用者様やご参加くださる地域の皆様の負担にならぬよう配慮しつつ、各施設でそれぞれに企画した「感謝の日」の行事が行われました。ご家族や地域の皆様の施設内行事へのご招待はコロナ感染症の状況に配慮しつつ、施設ごとの対応と



しました。利用者様、ご家族、地域の皆様、ボランティアの皆様、業者様、そして同じ職場で働く部下、同僚、上司に対しても職員一人ひとりが感謝の思いを新たにしたいことと思います。すべての皆様に「ありがとうございます！」

ご長寿おめでとうございます 4年ぶりに在宅の皆様もお招きしての合同敬老会

44回を数える健祥会グループの合同敬老会。9月13日をスタートに、徳島、香川、高知、大阪、京都、東京、全40カ所で24日まで、半月にわたって開催されました。コロナにより、規模の縮小を余儀なくされてきた3年間でしたが、感染症法上の位置付けが5類になったことから、状況が許す施設では、ご家族や地域の皆様も揃って本来の意味での合同敬老会

を開催することができました。とはいえ未だ終息には至ってはいませんで、気を抜かず施設ごとの対応としました。どの会場でも、職員が心を込めて企画した催しと厨房職員が腕によりをかけたお祝い膳を楽しんでいただきました。ご長寿おめでとうございます。



ゲートボールも / グラウンド・ゴルフも / 5大会無事開催！ ～ココロとカラダの元気のために～

コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられ、withコロナが日常になった2023年。スポーツができる喜びをみんなで満喫しながら、ゲートボール、グラウンド・ゴルフの全5大会が無事に開催されました。いつまでも、程よい運動とコミュニケーションを大切に、体力・運動能力・認知能力維持向上をめざしましょう。

- 第19回 健祥会杯グラウンド・ゴルフ大会
5月6日(土) 徳島市民吉野川南岸運動広場
- 第42回 健祥会カップ争奪
徳島オープンゲートボール選手権大会
5月13日(土) 阿波市土成町・緑の丘スポーツ公園
- 第19回 健祥会ふれあい大会(グラウンド・ゴルフ)
6月18日(日) 小松島市 坂野運動広場
- 第31回 健祥会カップ争奪東四国国体記念
四国オープンゲートボール選手権大会
10月7日(土) 高松市ホテルと文化の里運動場
- 第18回 健祥会グループ杯
南太平洋グラウンド・ゴルフ大会
11月11日(土) 阿南市橘湾小勝緑地



「いい日、いい日、介護の日」 催し多彩に！

地域の皆様に介護についての理解と認識を深めていただき、支え合いや交流の輪を広げ、安心の地域社会になるようにとの願いを込めた「介護の日」。健祥会グループ各施設で介護の日になんだ様々な催しを実施しました。徳島市のショッピングプラザタクトにある、健祥会ケアプラセンタータクトと介護・

医療・保育相談センター by ストアのEOMSでは、無料介護相談やリハビリ機器体験などの介護・医療・福祉フェアを開催。専門学校健祥会学園介護福祉学科の学生たちがつくった介護になんだ創作すごろくの紹介などもあり、お買い物に訪れた皆さんが、楽しいひとときを過ごしてくださいました。



初企画! 「登山×写真ワークショップ」

2023 7/8(土)



美しい山の眺めを楽しみながら写真に収めようと、日本百名山にも名を連ねる「剣山」へ。美馬観光ビューローの山岳ガイドさんから、風景の見どころや絶滅危惧植物のことを教わりながら総勢25名の職員が登りました。
あいにくの天気で、真っ白な霧が立ち込める中の道行きとなりましたが、それはそれでも幻想的！異世界にいるような不思議が楽しめました。風景を十分に撮ることができなかつたのが残念でしたが、また次の機会を期して！との声もあがっていました。ココロもカラダも清々しい一日でした。



新企画も登場、ますます張り切って!

— KIRARI WOMANネットワーク 2023活動レポート —

「WOMAN」の枠も超え、活動の幅がどんどん広がる「KIRARI WOMAN ネットワーク」。発足8年目となる2023年度、新企画にもチャレンジしました。



4年ぶり 沸き立つ街へ、栈敷へ 「健祥会ちるど連」

2023 8/12(土)

街も人も阿波踊り一色に染まる、徳島の熱い夏。その初日の12日、4年ぶりに健祥会グループから、常務理事中村晃子を連長に、育英認定こども園、青嵐認定こども園、とくしま健祥会認定こども園、こまつしま健祥会認定こども園、4園の園児90名と職員からなる「健祥会ちるど連」が踊りに沸き立つ徳島の街へ繰り出しました。「明日を想う」の高張り提灯のもと、阿波鳴連の皆様がサポートいただきながら藍場浜演舞場で元気な踊りを披露し、栈敷からあたたかな拍手とたくさんの方々の笑顔がいただきました。ご声援ありがとうございました。

施設の皆様にも 賑わいをお届け

利用者様に向けて、「出張！健祥会グループ連阿波踊り2023 by KIRARI」を開催。地域ごとに職員有志で結成したミニグループ連が各施設へ踊り込み、お盆の賑わいをお届けしました。思わず立ち上がっていつしよに踊り出す方、腕を高く上げてリズムにあわせる方、どなたも笑顔で、阿波踊りが元気をくれるかのような様子。やっぱり、最高！阿波踊り、また来年も楽しめようように！



KIRARIフードドライブ 役職員の 願いとともにお届け

2023 12/20(水)



2022年に取り組みをスタートさせたフードドライブ(家庭で余った食品を職場などに集め、フードバンクへ届ける活動)を、引き続き2023年も実施。関西地区3施設を含む43施設の職員と、理事、監事、評議員など役員が持ち寄ってくれたたくさんの方の食品を2台の車に満載して、常務理事中村晃子がフードバンクとくしまへ。諸物価の高騰でくらしに困難を抱える方々の年末年始が少しでも温かなものとなるよう、一人でも多くの子どもの笑顔につながるよう、みんなの願いとともにお届けしました。清田麻利子理事長より、感謝状をいただきました。

「私の道しるべ～明日を想って～」部門

●「天国まで届け!!」賞

「尊敬する父をしのぶに」

中川 規陽子様
ケアハウス 健祥会プロバンス 入居者様

●「寄り添って素晴らしい」賞

「明日を想って」

小谷 由貴さん
グループホーム 健祥会こころ ケアワーカー

●「感謝の姿にありがとう」賞

「朝日とあさひに思う」

入口 純世さん
特別養護老人ホーム 緑風荘 調理員

●「人生の祭ばやし、希望と喜びいっぱい」賞

「祭りの始まり」

辻 光平さん
特別養護老人ホーム 榎田の里
生活相談員



「あの人に伝えたいラブレター」部門

●「とってもナイスやけん」賞

「みな、おおきによ。」

森下 美智子様
老人保健施設 ジャンボ緑風会
通所リハビリテーション利用者様

●「可愛い! ファンタジー♥」賞

「まなからみんなへ」

野々村 真那さん
青嵐認定こども園 園児

●「心で伝わる、でも言葉はもっと嬉しいね」賞

「大切な娘へ」

巽 耕司さん
特別養護老人ホーム 緑風会イサベル 施設長

●「人生へのあつたかエール」賞

「2年前の『わたし』へ」

チャン ジェム チャウさん
介護老人保健施設 マリアンヌ 看護職員

「明日」に贈る すてきなメッセージ 私のトゥモログコンテスト

あなたの「明日」がいい日でありますように、みんなの「明日」が輝いていますように……そんな願いを込めて、「あのの人に伝えたいラブレター」「私の道しるべ～明日を想って～」ふたつのテーマでメッセージを募集。2023年11月15日から2024年1月10日の間に利用者様や職員、学生、園児から、86点の作品が寄せられました。入賞作8点です。

どの作品にも喜び、悲しみ、愛や夢が息づいており、読ながら心が温かくなる、すばらしい内容でした。入賞なさった皆様、おめでとうございませう。また、たくさんのご応募ありがとうございました。たまには心の中を文字にしたためてみるのも良いものですね。それぞれの作品は健祥会グループホームページで紹介しています。どうぞご覧ください。



◀健祥会グループホームページで作品を紹介しています。

- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 介護福祉学科
- 保育学科



一流になる。



学びの質も 学費の安さも 全国トップクラス!

授業料の負担少なく

- 中国・四国で最安 **理学療法学科** **作業療法学科**
- 全国トップクラスの安さ **保育学科**
- 社会人なら学費無料の制度あり **介護福祉学科**

※学園調べ

質の高い教育

- 創立25年の伝統と実績があります。
- 大学並みの整った設備が自慢です。
- 経験豊富な手厚い教師陣、ドクター2名も常勤、万全の国家試験対策。
- 文部科学省「高等教育修学支援新制度」対象校です。
- 4学科とも文部科学省「職業実践専門課程」の認定を受けています。
- 隣接する医療&介護施設が実践的な学びの場となります。

2025年度 入学生募集!

社会人OK! 年齢問わず!

学び直しであらたな道を開く先輩も大勢います!



社会福祉法人健祥会 専門学校

健祥会学園

お申し込み・お問い合わせ

TEL.088-642-9810 (入試事務局)

〒779-3105 徳島市国府町東高輪369番地1



あなたを待ってる人がいる
あなたが輝く場所がある

職員 募集中



笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で
私たちといっしょに働きませんか?

誰かのためになる喜びとやりがいにあふれた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか?
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します!
福利厚生も充実。仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます!

正規職員・パート 勤務地・勤務時間・給与 応談!

募集職種

ケアワーカー(介護職員)・相談員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師
ケアマネジャー(介護支援専門員)・管理栄養士・調理員・保育教諭・訪問介護員
ケアサポーター(介護助手) ほか

ご興味のある方は下記、または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ本部

TEL.088-642-7522



明日を想う
健祥会グループ

健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1

TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668

